

ヒポファエラムノイデス果実抽出液

本品は、ヒポファエラムノイデス *Hippophae rhamnoides* L. (*Elaeagnaceae*) 果実にプロパンジオール溶液を加え抽出したエキスである。

製造方法

ヒポファエラムノイデス *Hippophae rhamnoides* L. (*Elaeagnaceae*) 果実にエタノールを加え、香気成分、油分と共にエタノールを完全に除去した後、プロパンジオール溶液を加え抽出した後、得られたろ液をろ過して製品とする。

原料 ヒポファエラムノイデス乾燥果実 40g → 製品 0.8~1.0kg

性状

本品は、帯赤橙色～赤黄褐色の澄明な液体で、特異なおいがある。

確認試験

- ポリフェノール類

本品 30 μ L を、3.5mL の水に加え、フォーリンデニス試薬^{*1} 0.2mL と飽和炭酸ナトリウム溶液^{*2} 0.4mL を加えるとき、液は青色に呈する。

- 糖

本品 0.5mL に α ナフトール・エタノール溶液(1→20)を 2~3 滴を加えてよく振り混ぜた後、硫酸 1~2mL を穏やかに加えるとき、両液の接界面は、赤褐色を呈する。

*1: フェノール試薬(フォーリン・チオカルト試薬)を水で 2 倍に希釈用いる。

*2: 炭酸ナトリウム(無水)35g に水 100mL を加え、70~80°Cで溶解する。一夜室温にて放置し、生じた沈殿を除去した後、上澄みを用いる。

pH 3.0 ~ 4.5

純度試験

- 重金属

本品 1.0gをとり、第 2 法により操作し、試験を行うとき、その限度は、20 ppm 以下である。ただし、比較液には、鉛標準液 1.0mL をとる。

- ヒ素

本品 1.0gをとり、第 3 法により試料溶液を調製し、試験を行うとき、その限度は、2 ppm 以下である。

一般生菌数

衛生試験法 細菌一般試験法に従い、標準寒天培地を用い、試料原液を希釈液で 10 倍希釈し試験を行うとき、一般生菌数は 1×10^2 個/g 以下である。

真菌数

衛生試験法 真菌一般試験法に従い、クロラムフェニコール添加ポテトデキストロース寒天培地を用い、試料原液を希釈液で 10 倍希釈し試験を行うとき、真菌数は 1×10^2 個/g 以下である。

大腸菌群

衛生試験法 汚染指標細菌試験法大腸菌群に従い、BGLB 培地を用い、上記一般生菌数で使用した 10 倍希釈液 1mL を試料溶液とし試験を行うとき、大腸菌群は陰性である。

この規格及び試験方法において、別に規定するものの他は、外原規 通則及び一般試験法を準用するものとする。

製品名：コスメハーベスト® シーベリー 製造業者：オリザ油化株式会社 愛知県一宮市北方町沼田 1
--

発行日：2015 年 5 月 9 日

改定日：2017 年 9 月 4 日